



response +

THE EXPERIENCE OF THE BRAZILIAN STD, AIDS AND VIRAL HEPATITIS DEPARTMENT | 2010

MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
+
Volunteer Center

—ボランティア・カフェ—

「当事者が主役」ってどういうこと? ～JICA「TAMPOPO」プロジェクトに学ぶ国際協力～

本イベントでは、JICA プロジェクト・ヒストリー『TAMPOPO の綿毛が風に飛んでいく—ブラジル
ろう者「当事者主体」の奮闘の軌跡』(*) を題材に、プロジェクトに関わったメンバーの視点から、
国際協力における「当事者主体」の活動のあり方や社会モデルについて考えます。

※本イベントには情報保障として、要約筆記、手話通訳があります。

*「TAMPOPO プロジェクト」は、2008～2013 年までブラジルで行われた JICA 草の根技術協力事業
「ろう者組織の強化を通じた非識字層の障害者への HIV/AIDS 教育」のこと。



日時	12/1(月) 18:00~20:30	場所	明治学院大学白金校舎 アートホール(パレットゾーン2階)
申込	お申込みはこちら (学内外問わず、申込できます)		定員 70名 (先着順)

第1部|JICA「TAMPOPO」プロジェクトに学ぶ国際協力

「TAMPOPO プロジェクト」に関わった、盛上真美（DPI 日本会議国際
部会メンバー）、吉田憲（JICA コスタリカ所長）、西村正樹（DPI 日本
会議・副議長）の 3 名の報告から、国際協力における「当事者主体」
について考えます。



第2部|パネルディスカッション

第 2 部ではもっと身近な話題から「当事者主体」や社会モデルを取り上げ、本学学生も交え
パネルディスカッションを行います。

登壇：吉田憲（JICA コスタリカ 所長） 西村正樹（DPI 日本会議 副議長）

廣瀬芽里（Yes, Deaf Can! 代表） 坂本輝（明治学院大学 法学部 3 年）

進行：田中悠輝（ボランティアセンター・コーディネーター）

共催：明治学院大学ボランティアセンター、DPI 日本会議 協力：JICA

お問い合わせ：明治学院大学ボランティアセンター | TEL : 03-5421-5131